

カンボジアスタディツアーを 通して学んだこと

2023.3.4~14



東京学芸大学 養護教育専攻3年
D21-4009 中江美月

教員養成大学の学生との交流



グループワーク～熱中症～

-BTEC

カンボジアと日本の予防策の違いを比較
→気候や環境、文化による違いが
あっておもしろかった



-PTEC

症状、対応についてグループに
わかれてまとめた
→事前知識の差が活動への参加度に影響して
しまった



- 言葉は違っても、教員を目指している大学生同士、打ち解けることができた
- 育ってきた環境や受けてきた教育による意識の違いを実感



うどんハウス支援先小学校 ～保健室～

○部屋の一角に保健室スペース

○設備は充実

- ・保健指導ポスター
- ・ベッド
- ・身長・体重計
- ・救急セット

○利用者は月に2～3人

- ・体調不良者が15分休む程度
- ・怪我は教室で処置



- ・ **救急処置** の場としては機能
- ・ **発育測定・健康情報センター** 的機能としての役割
→ 設備はあるが活用しきれていない？
- ・ **保健指導・疾病や感染症の予防と管理を行う・健康課題を把握する** 場としての機能はなかった



～子どもたちとの交流～



○日本の学校との**共通点**

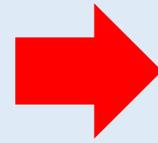
- ・そろっている靴
- ・授業チャイム

○日本の学校と**違った点**

- ・休み時間の過ごし方
 - －外に出る子が多い
 - －お菓子を食べている（売店で購入）
- ・先生の子どもが教室にで寝ている
- ・トイレ、手洗い場が少ない
→手洗いの習慣つきにくい…？
- ・授業中に教室の外にいる子ちらほら



- 子どもたちの様子
- ・活気があってにぎやか
- ・目がきらきらしていた
- ・無邪気に近づいてくる姿



日本の子どもたち とのギャップ



- ・カンボジアの子どもと日本の子どもの**幸福度**や**未来への期待感**
- 何が子どもたちの幸福感に大きく影響しているのか
(経済、社会、心身の健康、ライフスタイル、関係性、環境、etc...)





ご清聴ありがとうございました

